

校訓	真善美	令和8年度 学校だより	発行日	令和8年4月10日
教育目標	自ら考え、協働し、 未来を拓く生徒の育成 高め合う心、確かな学力、健やかな心身を育てる	「荒中だより」 4月 卯月 第2号	発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長 二宮 啓二

新入生の皆さん ご入学おめでとうございます。

### <学校長式辞(抜粋)>

166名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。本校職員、そして在校生一同、皆さんを心から歓迎します。今日から皆さんは、荒牧中学校の一員として、新たな学校生活をスタートさせます。期待と不安が入り混じった気持ちは、新しいことに向き合おうとしている証です。その気持ちを出発点に、中学校生活の1日1日を大切に過ごしてください。



校訓「真・善・美」は、荒牧中学校が大切にしてきた教育の中心であり、皆さんの3年間を導く道しるべでもあります。

1つ目の「真」は、本当のことを追い求める向学心です。皆さんがこれから出会う多くの「問い」に対して、自ら考え、粘り強く取り組むことが、学びに向かう力を育てます。その積み重ねが、筋道を立てて考える力や、周りの人と協力してよりよいものを生み出す力へとつながっていきます。すぐに答えが出なくても、物事の本質を見つめ、考え続けようとする姿勢を大切にしてください。

2つ目の「善」は、人としてよくあろうとする心です。中学校では、多くの人と出会い、人それぞれの行動や考え方に戸惑うこともあるでしょう。そんなとき、相手を認め、思いやりを持って関わろうとする姿勢が、人とつながる力を育てます。そのつながりが、安心して学び、挑戦するための土台となります。多様さがあるからこそ、人は学び合い、成長できます。違いを否定せず、相手を認めようとする心を、意識してみてください。荒牧中学校では仲間とともに学び、高め合う姿が息づいています。

3つ目の「美」は、美しいものに心を動かす感性です。美しいものや誰かの一生懸命な姿に、共感し、胸を熱くする。その心の動きが、「やってみよう」と前へ進む力になります。今年度から、部活動の在り方も変わり、地域が主体となる新しい活動が始まります。大きな変化に、不安を感じることもあるでしょう。しかし、こうした変化の中だからこそ、自分で考え、選び、挑戦する機会が広がります。心が動き、挑戦しようとするその姿そのものが、美しいのだと思います。



校訓「真・善・美」は、「学びに向かう力」、「人とつながる力」、「心を動かし挑戦する力」として、皆さんの学校生活を支えます。この三つを大切に育てていくことが、本校の学校教育目標である「自ら考え、協働し、未来を拓く」ことにつながります。

荒牧中学校は、皆さんが失敗を恐れずに、安心して挑戦できる場所であり続けたいと考えています。

保護者の皆さま、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。本日より、大切なお子様を荒牧中学校の生徒としてお預かりいたします。教職員一同、熱意と愛情をもって、成長を支えてまいります。迷いや戸惑いが生じたときには、それぞれの視点から、未来を見据え、「この子にとって何が一番よいのか」を、ともに考え、ともに悩みながら、歩んでいきたいと考えております。そして、子どもたちが成長する喜びを皆さまと分かち合える関係でありたいと願っています。どうぞよろしく願いいたします。



### 【生徒数・職員の紹介】

1年生166名、2年生178名、3年生198名の全校生徒542名で令和8年度をスタートしました。生徒の成長、学校の発展を本校教職員53名で支えて参りたいと考えておりますので、温かいお力添えをお願いいたします。なお、学年配置等については、紙面にて紹介しております。

**自信と誇りを持てる学校を創ろう!!**